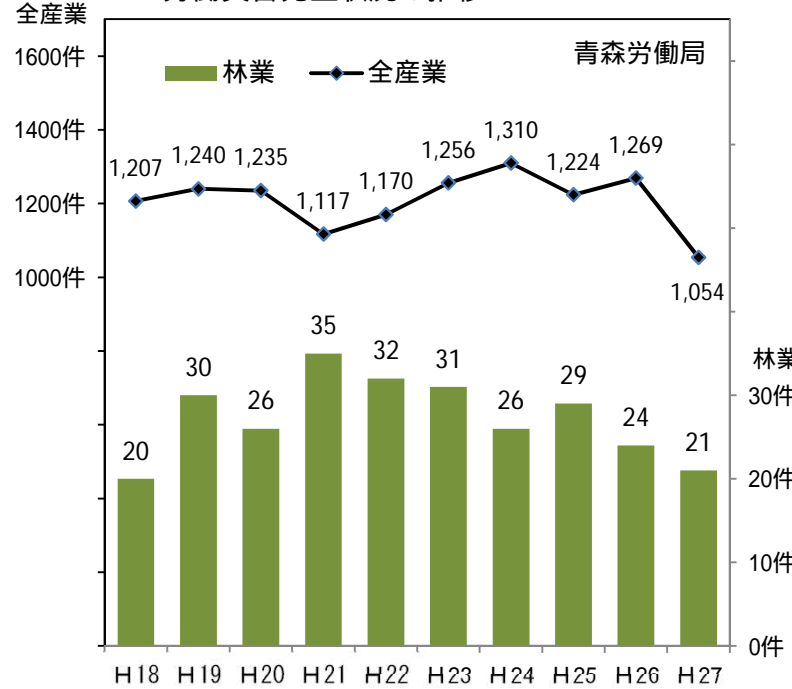
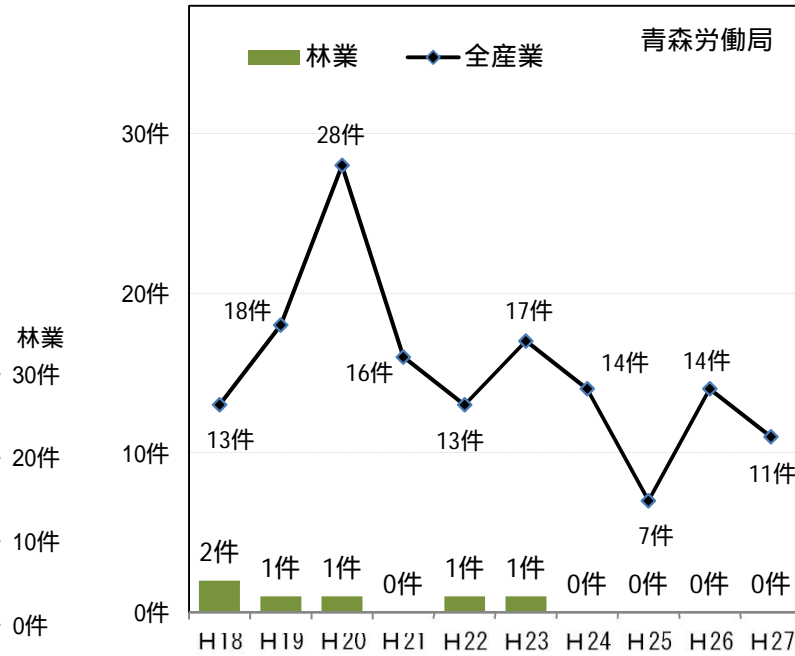


林業における労働災害(休業4日以上)発生状況 平成28年度版

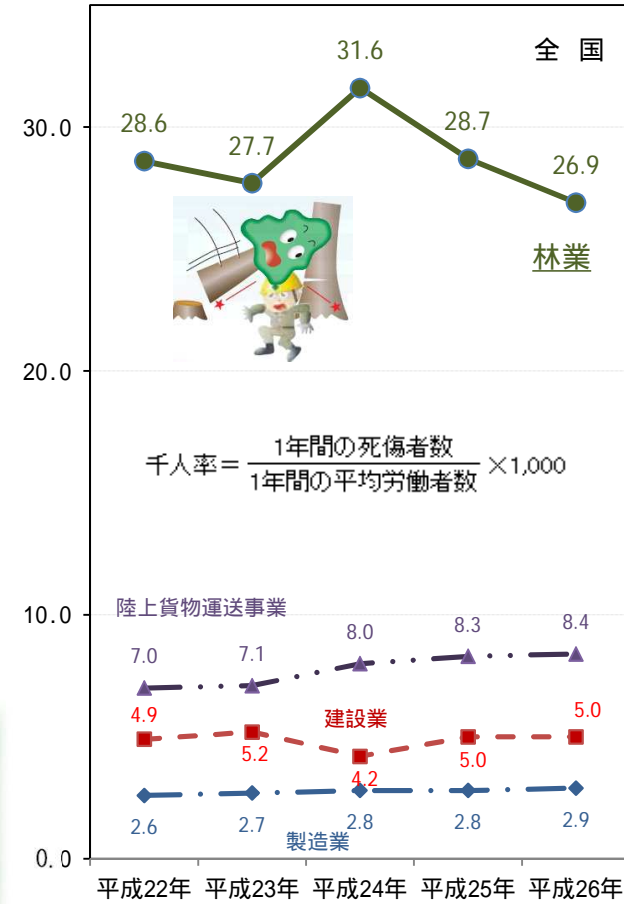
1 労働災害発生状況の推移



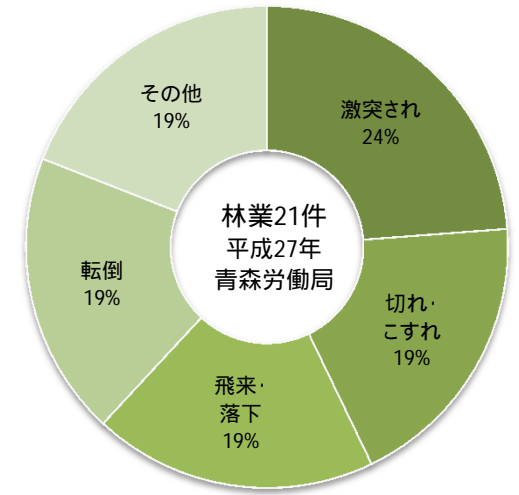
2 死亡災害発生状況の推移



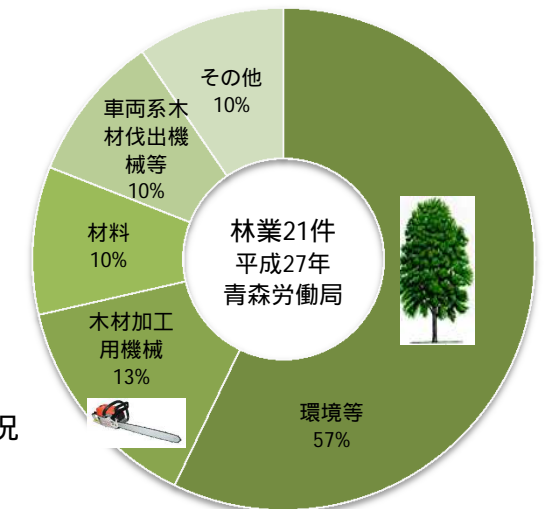
3 業種別死傷年千人率の推移



4 事故の型別労働災害発生状況



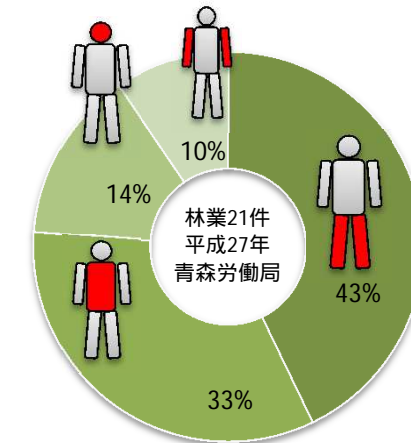
5 起因物別労働災害発生状況



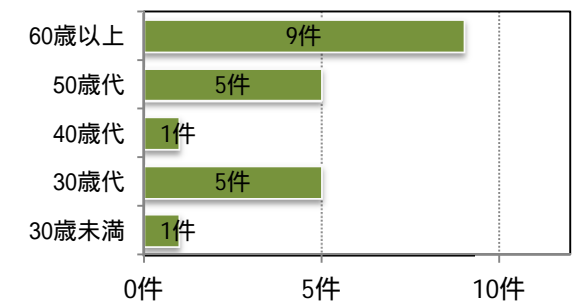
8 最近における死亡災害事例

事例	事例1 平成22年11月発生	事例2 平成23年10月発生	事例3 平成19年4月発生
発生状況	被災者は伐倒した木(杉:長さ約18メートル、胸高直径約40センチメートル)の枝払い後、谷側に約10メートル下ったところ、斜面(約34度)を伐倒木が転がってきて激突された。	チェーンソーにより立木(赤松:高さ約18メートル、胸高直径約33センチメートル)を伐倒したところ、他の立木にぶつかり、伐倒した木が折れ被災者に激突した。	立木の伐倒作業中、他の労働者がチェーンソーにて伐倒した木(杉:長さ約22メートル、胸高直径約30センチメートル)が被災者に激突した。
発生原因等	伐倒木の転倒を防止するための、くい止め、歯止め等がなかったこと。 伐倒方向が不適切であったこと。 安全な通路が選定されていなかったこと。 適正な作業計画が策定されていなかったこと。	安全な退避場所が確保されていなかったこと。 くさびの使用がないなど、伐倒方法の検討が不十分であったこと。 伐倒方向に適した追い口の切り込みになっていなかったこと。	危険区域内で作業が行われていたこと。 適正な作業計画が策定されていなかったこと。 危険区域が設定されておらず、作業打ち合わせが行われていなかったこと。

6 傷病部位別労働災害発生状況



7 年齢別労働災害発生状況



お知らせ事項等

チェーンソーを用いた伐木等作業において、安全に作業を行うために着用すべき保護具・保護衣等や適切な伐木等作業方法を示した「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」が公表されています。(平成27年12月7日付け基発1207号第3号)

- 示されている概要は次のとおりです。
- ・ 保護具の選定に当たっての留意事項
 - ・ チェーンソーの取扱い方法
 - ・ 伐木作業に当たっての留意事項
 - ・ 造材作業に当たっての留意事項